

検査結果の見方

項目		基準値	説明
脂質	中性脂肪	150 mg/dl 未満	皮下脂肪に貯えられエネルギー源となります。これが高いと動脈硬化などの要因になります。食事やアルコールのえいきょうを受けて、値が変動することがあります。
	HDL コレステロール	40 mg/dl 以上	善玉コレステロールともいい、この値が基準値内にあると動脈硬化になりにくいといわれています。
	LDL コレステロール	120 mg/dl 未満	悪玉コレステロールともいい、この値が基準値内にあると動脈硬化になりにくいといわれています。
肝機能	AST (GOT)	30 U/l 以下	肝臓、心臓などの細胞の中に多く含まれている酵素で、これが血液に流れ出た量を調べて、肝臓などに障害がないかどうかを調べます。
	ALT (GPT)	30 U/l 以下	
	γ - GT (γ - GTP)	50 U/l 以下	悪玉コレステロールともいい、この値が基準値内にあると動脈硬化になりにくいといわれています。
血糖	HbA1C (NGSP) (ヘモグロビン A1C)	5.6% 未満	赤血球中のヘモグロビンがブドウ糖と結合したもので、過去 1~2 ヶ月前の血糖レベルを反映しています。これを測定すると糖尿病であるかどうか判断しやすくなります。
尿検査	蛋白	(-)	尿に蛋白が混じっているかどうか調べることにより、腎臓などの障害の有無を診断する参考とします。
	糖	(-)	尿に糖が混じっているかどうか調べることにより、糖尿病の有無などを診断する参考とします。
	潜血	(-)	尿中に赤血球が混じっているか(血尿)確認して、腎臓や尿道、膀胱などの泌尿器の異常などを調べます。

尿酸	7.0 mg/dl 未満	プリン体の代謝の結果生じた老廃物で、痛風、高尿酸血症の人や、腎機能に障害があると尿中に排泄されず血液中に増加します。
クレアニン	男 0.7~1.2 mg/dl 未満 女 0.5~0.9 mg/dl 未満	たんぱく質の代謝の結果生じた一種の老廃物で、腎臓の機能が低下すると血液中に増加します。
eGFR 値	60ml/min/1.73 m ² 以上	腎機能の異常を調べます。

貧血検査	赤血球数	男 410~530 万/mm ³ 女 380~480 万/mm ³	体のすみずみまで酵素を運ぶ役目をする赤血球数を調べることにより、貧血の有無を診断する参考とします。
	血色素量	男 14~18g/dl 女 12~16g/dl	血液中に含まれている血色素のことで、赤血球数とともに貧血の診断のめやすになります。
	ヘマトクリット値	男 39~52% 女 35~48%	血液中の血球がどのくらいの割合で存在しているかを表すものです。貧血の診断の目安となります。